

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	113	施策	男女共同参画の推進
管理事業	男女共同参画事業	所管部局	市民部

1	所管 室課	人権政策室	事業名	DV防止対策事業			
事業概要							
DV防止対策							
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護等のために、相談を実施した。合わせて、DV防止に向けた啓発をホームページやSNSを通じて発信した。 ・DVに関する相談件数 令和3年度…643件、令和4年度…651件、令和5年度…730件			決算額 (千円)	607	491	541	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	25.1	40.8	53.4	☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ■ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
			・DV相談件数は増加傾向にあるが、各々の被害者の状況を考慮し、被害者の保護と自立に向けた支援を丁寧に行った。 ・相談内容について、DV防止法の対象外の方からの相談や、障がい者虐待、高齢者虐待、児童虐待等の様々な問題が複合し、複雑化したケースが増加しているため、関係機関とのより一層の連携が必要となっている。				継続 引き続き関係機関と連携し、相談者のニーズに沿った支援に努める。

2	所管 室課	人権政策室	事業名	ダブルリボンプロジェクト基金積立事業			
事業概要							
ダブルリボンプロジェクト基金積立							
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
DV及び児童虐待防止に関する取組の財源として、Wリボンバッジの売上金の一部のほか、企業や市民からの寄附金等をダブルリボンプロジェクト基金に積み立てた。 ・Wリボンバッジの販売個数及び金額 令和3年度…2,969個、744,120円 令和4年度…1,705個、483,240円 令和5年度…1,421個、396,300円 ・寄附金の件数及び金額 令和3年度…39件、757,281円 令和4年度…40件、708,717円 令和5年度…39件、764,661円			決算額 (千円)	1,302	1,132	1,183	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	33.5	31.7	39.1	☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ■ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
			・基金残高は減少傾向にあるため、回復 に向けた取組が必要である。				
			継続				
				Wリボンプロジェクト の周知に努め、安定し た基金運営を行う。			

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	113	施策	男女共同参画の推進
管理事業	男女共同参画事業	所管部局	市民部

3	所管 室課	人権政策室	事業名	男女共同参画事業		
事業概要						
男女共同参画プラン策定・推進、啓発						
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
(1) すいた男女共同参画プランの推進 吹田市男女共同参画推進条例に基づき策定したすいた男女共同参画プランの取組を推進し、男女共同参画社会の実現に向けて意識啓発を図った。 また、男女共同参画の推進に関する施策の実施状況について、具体的な数値や成果を示した年次報告を作成し、公表した。 (2) 中学生向け啓発冊子「エール」の発行 年に1回市報すいたに男女共同参画推進のための特集記事を掲載した。また、中学生向けの啓発冊子「エール」を市内中学生に対し配付し、啓発を行った。		決算額 (千円)	499	1,586	1,113	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	100.0	■ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画 の方向性・内容	
		・男女共同参画意識の醸成には継続した 啓発が有効であると考えられる。市民や 事業者に対して効果的な手段を検討して いく必要がある。			継続	
					引き続き効果的な啓発 方法を検討しながら実 施する。	

4	所管 室課	人権政策室男女共同参画センター	事業名	男女共同参画センター管理事業			
事業概要							
男女共同参画センター管理							
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
新型コロナウイルス感染症拡大が落ち着き、令和4年度と比較して利用者数は増加した。 ・施設利用件数及び延利用者数 令和3年度 …利用件数2,934件、延利用者数32,167人 ※令和3年度臨時休館日数 54日 令和4年度 …利用件数3,731件、延利用者数46,869人 令和5年度 …利用件数3,632件、延利用者数51,355人			決算額 (千円)	28,926	28,355	35,933	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	92.4	90.9	92.5	☐ 有効性 ■ 効率性 ☐ 公平性 ■ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
			築37年の施設であり、経年劣化に伴う 維持管理については、計画的な修繕や設 備の更新を行うなど適切な維持管理に努 める。 また、当センターの施設利用の稼働率 がそれほど高くないため、認知度を向上 させ、SNS等を活用し広報していく。				継続 引き続き、適切な管 理運営を行っていく。

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	113	施策	男女共同参画の推進
管理事業	男女共同参画事業	所管部局	市民部

5	所管 室課	人権政策室男女共同参画センター	事業名	男女共同参画センター主催事業			
事業概要							
男女共同参画センター運営、男女共同参画センター主催講座等、男女共同参画センター保育							
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
(1) 主催講座事業 オンライン講座も取り入れ、多様な市民ニーズに応じた開催方法を行った。 令和3年度…講座数41講座、延開催回数84回、延受講者数1,244人 令和4年度…講座数42講座、延開催回数99回、延受講者数1,525人 令和5年度…講座数36講座、延開催回数91回、延受講者数1,466人 ※これまで主催事業及びDV防止対策事業における講座等を合算して主催事業において実績をあげていたが、今回から事業別に記載。 (2) 保育事業 ・保育スタッフ延活動人数 令和3年度…253人 令和4年度…473人 令和5年度…342人 ・保育回数 令和3年度…92回 令和4年度…139回 令和5年度…73回 ・延保育児数 令和3年度…255人 令和4年度…429人 令和5年度…306人			決算額 (千円)	24,956	26,651	26,587	※課題があるものは■ □ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	99.6	99.7	99.5	■ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 □ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
			講座の開催について、SNSでの周知回数を増やしたところ、これまでセンターを利用したことがない人の受講もあり、センターを知ってもらうきっかけとなった。 講座の企画においては、テーマや目的の整理をより丁寧に行い、受講者にとってより良いものとなるよう努める。 保育スタッフは、主催講座やスタッフが活動する時間の一時保育を担っており、子育て中の人の社会参加の支援となっている。				
			継続				
			より効果的な講座を開催できるよう努めていく。				

6	所管室課	人権政策室男女共同参画センター	事業名	男女共同参画センター啓発事業			
事業概要							
男女共同参画センター啓発、男女共同参画センター調査研究、男女共同参画センター情報収集・提供							
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
(1) 広報事業 広報誌「ソフィア」の発行や、ホームページ、X、Line、Facebookの更新を随時行い、男女共同参画の意識啓発並びにセンターの事業の広報を行った。 ・ソフィア発行回数・部数 令和3年度…2回 令和4年度…2回 令和5年度…2回 (各回6,500部発行) ※令和3年度発行の100号のみ8,000部 ・Facebook投稿数 令和3年度…102件 令和4年度…50件 令和5年度…33件 ・X(旧Twitter)投稿数 令和3年度…83件 令和4年度…92件 令和5年度…80件 (2) 調査研究事業 令和5年度は「デートDV予防啓発出前授業」をテーマに、10年間の事業の実績のとりまとめを進めた。令和6年度に報告書にまとめて500部発行予定。 (3) 情報ライブラリー事業 ・図書貸出冊数 令和3年度…2,826冊 令和4年度…3,491冊 令和5年度…2,763冊 ・情報ライブラリースタッフ延活動人数 令和3年度…322人 令和4年度…579人 令和5年度…475人			決算額(千円)	4,720	5,039	4,663	※課題があるものは■ □ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源の比率(%)	100.0	100.0	100.0	■ 有効性 ■ 効率性 □ 公平性 □ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画の方向性・内容
				「ソフィア」を通して男女共同参画についての視点や意図を周知していくが、紙媒体だけではなく、電子データ等も活用していく。 新型コロナウイルス感染症拡大が落ち着き、センターの利用者が増えた一方で、情報ライブラリーの貸出し冊数は減少となった。利用者増を目指すため、SNSを活用した利用促進を積極的に行っていく。			継続
							様々な視点からの情報発信を継続していく。

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	113	施策	男女共同参画の推進
管理事業	男女共同参画事業	所管部局	市民部

7	所管 室課	人権政策室男女共同参画センター	事業名	男女共同参画センター相談事業		
事業概要						
男女共同参画センター相談						
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
女性のための各種相談と男性のための電話相談を実施した。 令和4年度までは、当事業で悩み相談を、DV防止対策事業でDV相談を行っていたが、潜在的なDVの掘り起こしを図るため、令和5年度から2つを統合して、当事業で悩み・DV相談を実施している。そのため、当事業の決算額が増加している。 ・電話相談件数（女性対象） 令和3年度…629件 令和4年度…770件 令和5年度…669件 ・悩み・DV相談件数（女性対象） 令和3年度…273件 令和4年度…245件 令和5年度…219件 （令和3・4年度は、悩み相談とDV相談を足した数値） ・法律相談件数（女性対象） 令和3年度…55件 令和4年度…44件 令和5年度…36件 ・男性のための電話相談（男性対象） 令和4年度…15件 令和5年度…43件 （令和4年6月から開始）		決算額 （千円）	3,772	4,341	5,797	※課題があるものは■ □ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率（%）	80.9	88.1	79.1	□ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 ■ 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
		令和4年6月から、男性のための電話相談を開始したが、女性向けの相談と比較すると相談件数が少ないため、周知に工夫が必要であると感じている。 令和3年度から、コロナ禍における女性の孤独・孤立への対策等を目的とした国の補助金を活用することで、女性対象の電話相談の実施日時を拡充し、令和5年度も拡充を継続した。				
						継続

8	所管 室課	人権政策室男女共同参画センター	事業名	DV防止対策事業			
事業概要							
DV防止対策							
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
令和4年度までは、当事業でDV相談を、男女共同参画センター相談事業で悩み相談を実施していたが、潜在的なDVの掘り起こしを図るため、令和5年度から2つを統合して、男女共同参画センター相談事業で悩み・DV相談を実施している。そのため、当事業の決算額が減少している。 (1) DV防止対策講座事業 令和3年度…講座数11講座、延開催回数19回、延受講者数206人 令和4年度…講座数12講座、延開催回数20回、延受講者数176人 令和5年度…講座数7講座、延開催回数15回、延受講者数117人 ※これまで主催事業及びDV防止対策事業における講座等を合算して主催事業において実績をあげていたが、今回から事業別に記載。 (2) デートDV予防啓発事業 ・出前授業実施校数 中学生 令和3年度…13校 令和4年度…11校 令和5年度…14校 高校生 令和3年度…2校 令和4年度…3校 令和5年度…2校 大学生 令和3年度…2校 令和4年度…2校 令和5年度…1校			決算額 (千円)	3,178	3,103	1,369	※課題があるものは■ □ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	41.7	38.3	32.4	■ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 □ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
			市民向けのDV防止対策講座については、受講者が集まりにくい傾向にある。市民が身構えず自分事と考えやすいように、企画や周知に工夫が必要。 中学校向けのデートDV予防啓発出前授業においては、より分かりやすく、身近な問題として伝えていくために、ユースリーダー（大学生ボランティア）とともに授業を行うプログラムを、外部講師とともに取り組んでいる。				継続
				中学校でのデートDV 予防啓発出前授業を全 市立中学校で実施でき るよう働きかけてい く。			

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名